



とうぎん ゆう

東山の雄

一関市立千厩中学校
学校だより 第29号
令和5年12月6日
文責：菊池

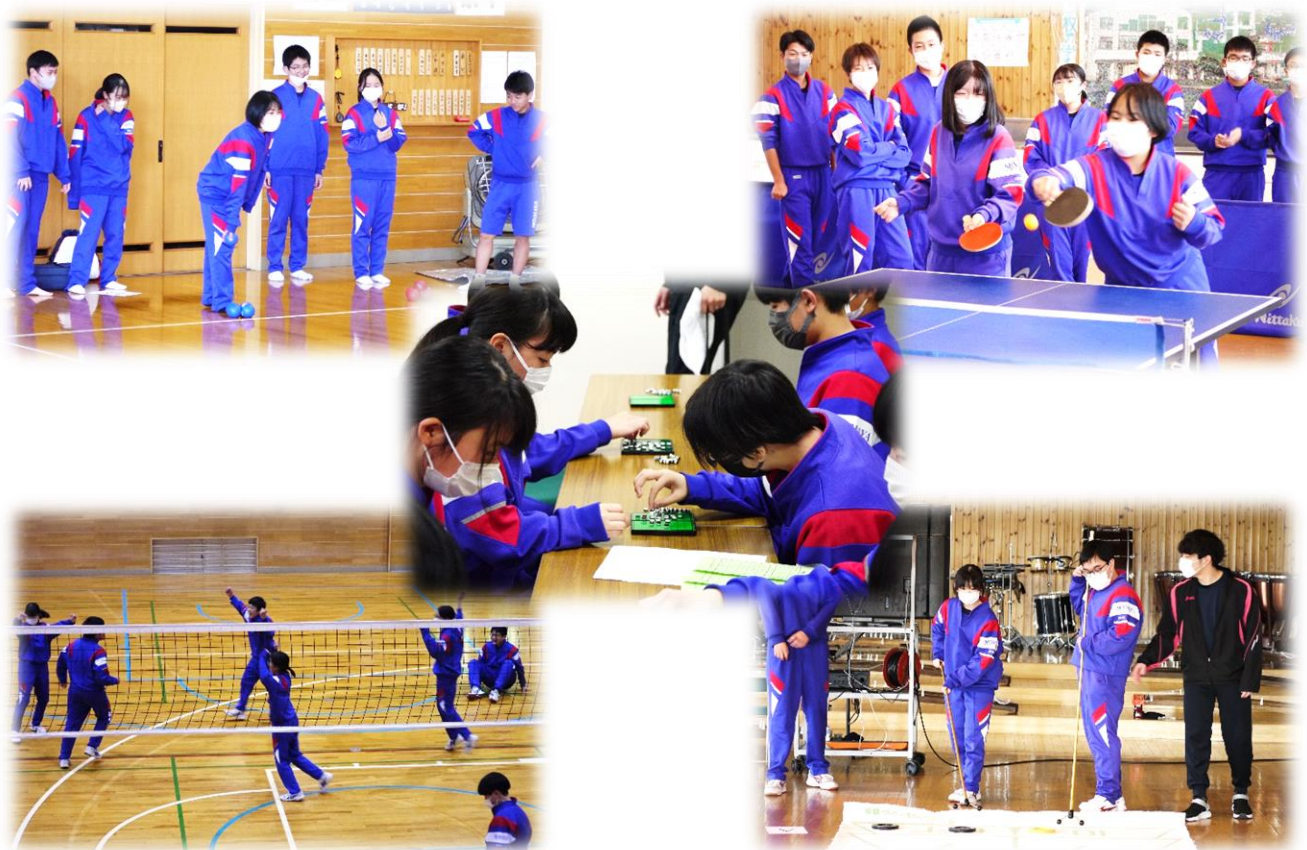
クラスマッチ、大成功

11月30日(木)の5・6校時にクラスマッチが開催されました。この行事の目標は、「レクリエーション活動を通して、学級間の交流、学級の団結を図る。」「みなトモ学級との交流を図る場とする。」で、生徒はバレーボール、ポッチャ、卓球、オセロ、シャフルボードの5種目のどれか1つに参加しました。また、交流が目的ということで、各種目トーナメント戦で行われましたが、順位をつけないこととしていました。

種目の特性もあって、バレーボールや卓球の球技は、大きな声を掛け合いながらの対戦、オセロは緊張感漂う静寂の中での対戦、声援にぎこちなさのあったポッチャ、シャフルボードという様子でした。

私が見回るなかで、いいなと思ったことが2つありました。1つは、ポッチャでのできごとでした。最初、見回った時には、淡々と競技が進められていましたが、時間をおいて見回った時には、チーム内での励ましの声があり、見学しているチームからの声援ありと様子が変わっていました。「交流を深めた」という姿がそこにあったように思います。2つ目は、シャフルボードでのできごとでした。競技終了後、片付けの段になった際、率先して片付けの手伝いをしてくれた生徒がいました(他の種目でもあったと思いますが)。生徒会行事、まさに自分たちの手で運営するという姿がそこにはありました。清々しい気持ちになった時間でした。

みんなが楽しめるように、この行事を企画し、準備、後片付け等運営を行ってくれた生徒会執行部の皆さんに感謝します。



【表彰】

○令和5年度一関市児童・生徒納税作品（千厩支所に掲示中）

習字 特別賞 会田 紗和（2B） 課題「伸びゆく郷土」

作文 特別賞 千葉 なつ（2B） 題「税金を大切に使うために」

○令和5年度 中学生の「税についての作文」

一関税務署長賞 千葉 なつ（2B）



全国納税貯蓄組合連合会&国税庁共催

令和5年度

中学生の「税についての作文」入賞作品



一関税務署長賞

税金を大切に使うために

一関市立千厩中学校

二年 千葉 なつ

ある日の掃除時間のことです。何気なく教室のゴミ箱の中が目に入り、愕然としました。切り刻まれた消しゴム、4センチ以上残っているシャープペンシルの替え芯、その他まだまだ使えるようなものがたくさんあったのです。

数日後、小学生の弟が、その日に行われた税金教室のテキストを持って帰ってきました。もともと税金に興味があった私は、そのテキストを最後まで眺めました。税金がどのように集められ、どんな用途に使われているか知ることができました。しかし、小学生向けのテキストですので、その他にもまだまだ、たくさん用途があるのだらうと思ひ、図書館やインターネットで調べてみました。そこで、税金の使用用途の中にゴミ処理にすることがあり、多額の税金が使

われていることを知ったのです。二〇一八年統計によると約二兆一千億円の税金がゴミ処理に多額の税金が使用されていることも知りました。私の脳裏に、教

室のごみ箱が浮かんできました。まだ十分に使える物が捨てられ、その処理に税金が使われるということは、つまり、二重の無駄遣いがされているということになるのではないのでしょうか。これからはますます少子高齢化が進み、税金を納めることができる人口もますます減ってくると思います。だからこそ、税金の無駄遣いは絶対にあってはならないとつくづく思います。

SDGsの取り組みが始まって数年が経ちました。資源の無駄遣いに対する取り組みは浸透しつつあるように思えますが、それが、税金の無駄遣いをなくすような取り組みにつながれば良いと思います。

そして、高齢者福祉に多くの税金を投入できるように思ひます。具体的には高齢者のための移動手段としての福祉タクシーの増加や高齢

者向けの移動販売車の創設等により、地域のコミュニケーションを守り地域全体で子供や高齢者を見守っていただく仕組みを作ることに税金を費やすことです。

また、最近では、地域に多くの外国の方が就労しています。社会体験学習でも体験先で中国籍の方や韓国籍の方、東南アジアから来られた方々がいらつしやいました。これからの国際化社会に向けて、地域で就労している外国籍の方々と気軽に交流できる施設が欲しいと思つています。さらに、道路に目を向けると、標識等は日本語やローマ字が中心となつていて、外国の方々にはやや不便だと思われます。標識に限らず、公共施設での表示など、様々な言語に対応できるように、税金を使って改善してほしいと思つています。

税金を大切に使い、安心して暮らせる世の中になることを願ひ、私は、これから、税金に目を向けていきます。一国民として、今以上に豊かで住みよい社会を目指すために。

